

| | | | |
|--------------|-----------------------|------------|---|
| 授業科目名 | 人間教育実践力開発演習 (2100303) | | |
| 時間割名 | 人間教育実践力開発演習 (42111) | | |
| 時間割担当 | 伊崎一夫 | | |
| 実施期 | 通年 | 単位数 | 1 |
| 曜日・時限 | 木・2 | | |

授業の目標・概要

教員に求められる資質・能力を身につけるために必要なコミュニケーション力、企画力、行動力などの人間力を高めていくことの必要性を知る。人間教育実践力を高めるために、地域学校へ行事参加やボランティア、学習支援など通してつながりを模索し、それらの活動を学校のニーズに応じてグループで計画、運営していく。

学習の到達目標

- ・学校等での実践的な経験を通じて学校教育に関する理解を深める。
- ・児童生徒との関わり方を実践的に学び、各自の課題を明確にする。
- ・学校教育における今日の課題について理解を深め、課題解決に向けての見通しを持つ。
- ・グループによる協同学習とその成果等の発表活動を積極的にを行うことによって、自身の学びをふりかえり省察力を高める。

授業方法・形式

- ・実際に、学校現場に出向き、学校の先生という初めての立場で子どもと触れ合い、教師の仕事の間近に観察する。
- ・教師の職に就くまでに何を学ばなければならないのか、また何を身につけなければならないのかなど、グループ討議を繰り返し、その成果を交流し合う。
- ・フィールドワークを中核とする授業である。

授業計画

【前期】

- 第 1 回 ガイダンス : 「人間教育実践力開発演習」の意義と目標
- 第 2 回 ガイダンス : 教師としてふさわしい態度・行動・言葉遣い・挨拶・服装等
- 第 3 回 先輩教師に学ぶ
- 第 4 回 先輩教師に学ぶ
- 第 5 回 学校現場における観察の仕方等を学び、各自の目的を明確にする。
- 第 6 回～第 9 回 地域協力校での実習(1) * 地域協力校の実態に応じた方法で実施する
- 第10回 地域協力校で学んだことのまとめと発表の準備
- 第11回 地域協力校で学んだことの発表・検討会
- 第12回 地域協力校で学んだことの発表・検討会
- 第13回 地域協力校で学んだことの発表・検討会
- 第14回 地域協力校で学んだことの成果と課題を冊子等にまとめる。
- 第15回 地域協力校で学んだことの成果と課題を幅広く情報発信する。

【後期】

- 第 1 回 ガイダンス: 「人間教育実践力開発演習」の意義と目標を確認する
- 第 2 回 地域協力校での実習(2)に向けて、各自の目的を明確にする。
- 第 3 回～第10回 地域協力校での実習(2)(3) * 地域協力校の実態に応じた方法で実施する
- 第11回 地域協力校で学んだことのまとめと発表の準備
- 第12回 地域協力校で学んだことの発表・検討会
- 第13回 地域協力校で学んだことの発表・検討会
- 第14回 地域協力校で学んだことの成果と課題を冊子等にまとめる。
- 第15回 地域協力校で学んだことの成果と課題を幅広く情報発信する。

成績評価の基準

地域協力校での実習態度、学びの成果と課題等に関するレポート等を総合的に評価する。

授業時間外の課題

地域協力校は学生の研修のためにあるのではなく、子どもたちの学びのためにあることをふまえ、学校教育や教師としてのあり方等について、普段から見識を高めるようにすること。

グループ内の協議については、授業時間外においても積極的にを行うこと。

メッセージ

本科目は、「人間力」を中核とした各自の適性や能力を見つめる有益な学びの場となります。教職への志望をより強くすることや、自身の将来設計を見極める機会にもなるでしょう。協同的なグループ活動ができるよう心がけて下さい。

教材・教科書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。